



各地からの便り



「各地からの便り」の詳細は

森もりスクエア

検索



置戸町と連携した 銘木市への出品



【網走中部森林管理署】

1月24日に旭川銘木市が開催されました。今回の銘木市には地元の置戸町から出品したメジロカバ径級56センチメートルが、落札の読み上げで「大台です!」という声に会場ではどよめきが起こり、樹種別の最高単価を獲得することが出来ました。この丸太は、昨年11月初旬に置戸町の林務担当者より、「町営住宅に隣接する林地の樹木を居住者の安全のため伐採し、事業体へ売り払うこととしたが、樹種名や木材の価値、販売方法などについてアドバイスが欲しい。」との依頼があり、樹種の確認や採材の指導等について、森林管理署に依頼があり、指導と併せて銘木市への出品を提案しました。

今後も、このような支援と連携を積み上げていくことが重要だと、改めて実感しています。

QGIS（地理情報システム）の勉強会を実施



【十勝東部森林管理署】

1月22日、当署職員を対象にしたQGIS(※)勉強会を開催しました。QGISは、造林や造材の実施計画図の作成や森林作業道の記録、面積測量に活用できるほか、データファイルを送るだけで図面の共有を簡単に行うことができるため、各方面で活用が進んでいます。今回の勉強会ではQGISの操作方法や基本的な使用例を解説した職員手作りのマニュアルを使って行いました。事後アンケートでは、9割以上の回答者から今後の業務にQGISを活用したいと回答があり、多くの職員にQGISの利便性を感じてもらうことができました。今後は、職員内での活用をすすめ、業務の効率化、省力化を図っていきます。(※)無料で公開されているGISソフト

滝上小学校・濁川小学校 合同で「間伐現場見学」 を実施



【西紋別支署】

1月27日、滝上町、滝上町森林組合、滝上林業協同組合等と西紋別支署で構成される「滝上みどりの森林推進協議会」が、江本木材産業株式会社の社有林において滝上小学校と濁川小学校の児童を対象にした森林環境教育で間伐作業を見学しました。現場では、高性能林業機械を使用した立木の伐倒・枝払い・玉切りの一連の作業を見学し、児童からは「カッコいい!」、「すごい!」と声上がり、あっという間に伐倒から玉切りまでを行い、機械の動作や木が倒れる迫りに驚き興味津々な様子でした。今年度、苗木の生産から伐採、さらに製材までの一連の流れを見学したことで、林業について理解を深めてもらったのではないかと思います。

CISEサイエンス フェスティバル



【企画課】

1月9日、10日に札幌市の地下歩行空間(チカホ)にて第8回CISE(※)サイエンスフェスティバルが開催されました。このイベントでは、札幌近郊の自然史系博物館や動物園・図書館等といった社会教育施設、市民団体と大学など研究機関が協働して、地域の子どもと一般市民に科学教育の場を提供しています。北海道森林管理局のテーマは「冬でもできる樹木観察～冬芽から広がる世界～」冬芽から出された5つのミッションにチャレンジしていただきました。2日間で1,600人を超える来場者があり、大盛況でイベントを終えることができました。皆様も森や公園で樹木を観察するのはいかがですか。

(※)札幌周辺地域の教育施設が連携し、地域住民への実物科学教育を進めるネットワークです。

